ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

シートNO.

ボーリング名	B-2	調査位置								北　緯	36 ° 28 ' 03.6000 "
発注機関	栃木県栃木土木事務所					調査期間	2009-07-08 ～ 2009-07-10			東　経	139 ° 48 ' 29.6000 "
調査業者名		主任技師				現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	82.50 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	10.48 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
					盛土	暗灰褐		中位	-0.10mまで40-0砕石。 以深シルト混り礫主体（建設発生土）の盛土。 所々礫等の混入少なく、含水上位で軟らかい。又、所々に凝灰岩屑・コア長10cmのアスファルト・コンクリート片が混る。		
	80.60	1.90	1.90								
					軽石 (Pm)	赤黄褐～黄褐		に軟らかい	-1.95mまで茶褐色のロームでなる。 以深粒径φ1～3mm主体の鹿沼土。 多孔質を呈し、含水上位。 火山砂分多く、粒子はポロポロ状を呈し、3割程度は潰れた状態。		
	79.20	1.40	3.30								
					ローム (Lm)	茶褐		中位	ほぼ均質な火山灰質粘性土。 全体に含水・粘性上位。 少量の砂分が混る。 -6.80m付近より赤褐色のスコリア粒が散在。 -7.20mより含水中位で、白黄色の軽石粒が散在しやや硬い。 -7.90mより含水上位となり、腐植物がやや多く混る。 -8.80mより腐植物混入少なく均質を呈し、風化粘土化が進み非常軟らかい。		07/09 10.48
	72.02	7.18	10.48								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2	2	2	6／30	6
1.45					
2.15	1／15	1	1／15	3／40	2
2.55					
3.15	1／55			1／55	1
3.70					
4.15	1	2	2	5／30	5
4.45					
5.15	1	1	2	4／30	4
5.45					
6.15	1	1	1	3／30	3
6.45					
7.15	1	1	2	4／30	4
7.45					
8.15	1／18	1／20		2／38	2
8.53					
9.15	1／30			1／30	1
9.45					
10.15	1／25	1／8		2／33	2
10.48					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						07/08
						07/09